



今年は夏休み前に保育園児、小学校児童、中学校生徒全員に台紙を配布したほか、全世帯にもお配りしましたが、想定よりかなり少ない数しか返ってきませんでした。

多くの方から4地区の前夜祭を巡っていただき、それぞれの前夜祭を賑やかに…との目的で昨年からのスタンプラリーですが、実施方法等は来年に向けて検討したいと思います。

《海上花火大会》8月17日(土)20:00～名立漁港西ふ頭(参加者約700人)



少や少子高齢化など、私たちを取り囲む社会環境は厳しいものがありますが、みんなで力と知恵を合わせれば…の気持ちを忘れないようにしていきたいです。

今から来年のことを言うと“鬼に笑われる”かもしれませんが、そのくらいの気持ちで誰もが気軽に集い、楽しめる夏まつりとなるよう、みなさんと一緒に考えていきたいです。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

【編集・発行】

NPO 法人まちづくり未来ネット・名立 理事長 三浦 元二
〒949-1602 上越市名立区名立大町 200-1 (名立地区公民館内)
☎: 025-537-2182 FAX: 025-546-7041
✉: matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp ホームページ URL: nagatatsu.com
Instagram <https://www.instagram.com/nadachi.machikyo/>



HP ↑ Instagram ↑

また、夕陽イベント前から健康広場では「前夜祭スタンプラリー」の受付が行われ、スタンプ台紙を手にした子どもたちが集まってくれました。



NPO 法人まちづくり未来ネット・名立 会報 2024年9月25日発行 No.52
未来ネット通信 【楽しかったね、2024夏まつり号】

「暑さ寒さも彼岸まで…」ってほんとかな？

近年の暑さをどのように表現したらいいのでしょうか？

猛暑、酷暑では飽き足らず(!?)「(命の)危険な暑さ」という言葉さえ耳にするようになりました。

それでも、「暑さ寒さも彼岸まで」を信じて9月22日の秋分の日を待っています(この原稿を作成しているの



その名も「秋海棠」(シユウカイドウ)

は9月13日ですが、さて、古からのことわざどおりに「夏の暑さも秋の彼岸を境に和ら」いでくれるのでしょうか？

名立の里山では今が稲刈りの盛りであると同時に、秋冬野菜の種まき時期でもあります。

この暑さではなかなか季節の移ろいに心を寄せよう風雅な気持ちにはなれませんが、それでもあちこ



宝田小学校近くのソバ畑

ちに秋の装いが感じられるようになりました。

秋の訪れの前に2024ふるさと名立・夏まつりを振り返ってみましょう。

□ “2024夏まつり” を振り返る

連日の猛暑とはいえ、やはり屋外でのイベント(まつり)はどうしても天候が心配で、一週間前から「週間天気予報」と“にらめっこ”になります。

前夜祭	
北部地区	下名立地区
8月12日(月) 17:00~20:00 名立地区公民館駐車場 盆踊り・子供広場・ゲームコーナーほか	8月12日(月) 17:30~20:30 宝田小学校駐車場 納涼宝田踊りまつり 観日用ゲーム・キッチンカー・手作り提灯
上名立地区	不動地区
8月15日(木) 18:30~21:00 新平蔵村公園 ちびっこ花火大会・ビンゴ・射的・かき氷ほか	8月16日(金) 19:30~21:00 不動生涯学習センター 子ども花火・盆踊り大会

今年は前夜祭初日の12日に雨が降り、北部地区は残念ながら予定を変更せざるを得ませんでした。それ以外は“天候に恵まれ”、ほぼ予定どおり前夜祭～本まつりを開催することができました。

2024夏まつりに関わっていただいたすべてのみなさんに厚くお礼を申し上げますとともに、お盆時期のご多用の中にもかかわらず参加していただいた地域のみなさんにも深く感謝申し上げます。

前夜祭はおおむね昨年同様でしたが、本まつりでは猛暑対応としてちびっこ広場を中止したほか、夕陽イベントは開始時間を遅らせるとともに会場も健康広場に変更して開催しました。



□ 地域性・個性豊かな4地区前夜祭

今年の前夜祭も4地区で各地区振興協議会や町内会等が主体となって様々な趣向を凝らして実施していた

できました。

なお、各会場の振り返りコメントや参加者数は各地区振興協議会からご報告いただいた内容です。

《北部地区》8月12日(月)17:00～ 名立地区公民館駐車場(参加者約250人)

《下名立地区》8月12日(月)17:30～ 宝田小学校駐車場(参加者約200人)

2024夏まつり前夜祭のトップバッターはともに12日開催の北部地区と下名立地区でした。

多くの方から参加していただけるよう、そして、運営面でもスタッフが集まりやすいように…という両地区共通の思い(課題)から振替休日の12日の同日開催になりました。

結果として参加者数は両地区とも昨年とほぼ同じでしたが、開催日については4地区間の調整や土日開催などが来年に向けての検討事項に挙げられていました。

北部地区でも暑さ対策として開始時間を昨年より遅らせる配慮をしていただきました。

ただ、恒例の盆踊りがこれから佳境を迎える…というときに降り始めた雨が止む気配がなかったため残念ながら途中で中止(前夜祭自体も中止)になってしまいましたが、昨年に比べ子どもたちの参加が多く、用意したチケットが早々になくなったとのことでした。



下名立地区では事前に配布した前夜祭チラシの効果もあり、多くの参加者が賑わいを見せていました。

会場の宝田小学校からは長机やイスなどもお借りすることができたことから、前夜祭準備もスムーズにできたようで、こうした機会を通じ、地域と学校との関係が深まっていくことにつながると思います。



《上名立地区》8月15日(木)18:30～ 折平農村公園(参加者約180人)

今年も折平盆祭り実行委員会のご協力をいただきながら開催しました。

昨年同様、子どもたちには射的や綿あめが人気でしたが、今年初めて行ったストラックアウトにも大勢挑戦してくれ盛況でした。

また、ビンゴゲームはいろいろな景品を用意して行い、例年どおり盛り上がりましたし、生ビールも早々に完売し、子どもから大人からそれぞれ楽しんでいただけたものと思います。

来年の課題としては会場の照明についてもう少し明るくなるように検討していきたいと思います。



《不動地区ふるさと夏まつり》8月15日(木)16日(金)(2日間で参加者約610人)

2024夏まつり4地区前夜祭の最後は今年も「第33回不動地区ふるさと夏まつり」です。

15日午前中の川あそびでは“老若男女”がニジマスやハヤなどがいそうな岩の隙間に全身ずぶ濡れになりながら“遊んで”いましたが、この日も暑く、みなさんきっと涼しかったでしょうね。

夜のちびっこ花火大会は風もなく、子どもたちの元気な声が響いていましたし、盆踊りでは不動地域に伝わるヨーホイほかで盆踊りの和が広がっていました。

16日夜の向山大花火大会では少年名立太鼓の演奏に続き、74プログラム約100発の花火が不動の谷間に打ち上げられました。



□2024夏まつり本まつり～夕陽イベント・海上花火大会～

8月12日から始まった2024夏まつりもいよいよ最終日。

“有終の”海上花火大会を目指してもうちょっとがんばりましょう！

《夕陽イベント》8月17日(土)18:00～

うみてらす名立健康広場(参加者約500人)

夕陽イベントは出演者にもスタッフにも、そして参加者にも猛暑対策として、昨年までの“夕陽が沈むころにエンディング”から“夕陽が沈むころにオープニング”にしようとして18:00からの開催でした。

また、うみてらす名立にお越しの区外のみなさんからも楽しんでいただけたよう、会場を駐車場奥の健康広場に変更しました。

この2つの見直しが“功を奏した”のか、昨年よりの多くの参加者(観客)があり、いずれも名立区内で活動されている里神楽(獅子舞)の演舞、少年名立太鼓、名立太鼓連中の力強いバチさばき、そして名立中学校生徒による名中ソーランを楽しんでいただけたものと思っています。

また、上越市社会福祉協議会名立支所と名立商工会青年部のみなさんからは今年も出店にご協力いただき、大変ありがとうございました。

用意された飲食物はおおむね完売で、社協の売上金の一部と当日ご協力いただいた募金は今後の地域福祉事業に充当されるとのことです。

こうしたことで夏まつりが地域福祉の推進に役立っていると思うとうれしいですね。